

光で紡ぐ白川町の遺産

～しらかわへ行こう しらかわへ帰ろう～

1. 地域課題

白川橋は、土木遺産にも認定された国登録有形文化財として、白川町の象徴的な存在であり、令和8年に建造から100年を迎える。かつては毎日ライトアップされ、昼夜、白川町の玄関口のランドマークとして親しまれていたが、東日本大震災直後の電力需給の逼迫による節電の取組みにより、以降現在まで、ゴールデンウィーク、お盆、年末年始の年間数日のみ点灯している。また、水俣条約に基づく水銀灯の製造、輸出入の禁止により既設の水銀灯の寿命が尽きた際は、同様の照明灯を交換することはできない。

記念すべき100年の年に、ライトアップ設備をLEDに更新し、白川町の「顔」としての白川橋を強調することでイメージ向上と郷土愛の醸成、観光資源の高付加価値化を図る。

2. 施策の内容(課題解決につながる施策)

タイトル	白川橋架橋100 年LEDライトアップ
概要	既存の水銀灯を、自動に色彩変化が可能なフルカラーLED照明に更新し、イベントや季節、国際的行事・キャンペーンに応じた照明演出を行う。 町の歴史的資産を未来へつなぎ、町民と観光客と一緒に守り、楽しむ文化財として再評価するとともに、環境に配慮した情報発信力を高める地域資源として活用する。 

3. 寄附金の使い道

項目	活用内容	想定金額(例)
工事請負費	灯具すべてを制御機能付きフルカラーLED照明に更新	2,420万円

4. お問い合わせ先

白川町役場 振興課 魅力発信係
電話0574-72-1311内線234
メールchiiki@town.shirakawa.lg.jp

【企業版ふるさと納税】